

登録日	2009.08.31
再登録日	2014.12.12

がん化学療法レジメン登録書

登録番号：09-035

がん種/レジメン名		実施区分	適応疾患分類	抗癌剤適応分類				
扁平上皮がんを除く切除不能な進行・再発非小細胞肺がん カルボプラチン+アリムタ併用療法		点滴静注 内服処方	日常診療（治療）	進行・再発・転移癌 1st、2nd、3rd、4th				
1クールの特与期間 21日/クール		備考（最大特与回数等） プラチナ製剤併用療法は6コース以下とするよう勧められる						
Day	特与順	薬品名（成分名）	特与量	単位	溶解液・液量	特与時間	特与ルート	
1	1	ビタミン B12 注	1000	μg	生理食塩液 50mL	9週毎に特与*1	i.m	
		パンピタン末	1	g		朝食後*1	p.o	
	*1 最終特与から 22日目まで特与							
	2	デカドロン	9.9	mg		15min	Div.	
	3	アロキシ	0.75	mg				
	2	アリムタ	500	mg/m ²	生理食塩液 100mL	10min	Div.	
	3	カルボプラチン	AUC×5	mg	生理食塩液 250mL	60min	Div.	
	4				生理食塩液 50mL	5min	Div.	

【特与開始基準】 ※アリムタ適正使用ガイド、カルボプラチン添付文書より

項目	基準値及び症状
好中球	≧2000/μL
ヘモグロビン	≧9.0g/dL
血小板	≧100000/μL
AST 及び ALT	≦ULN×2.5
T-Bil	≦ULN×1.5
血清アルブミン	≧2.5g/dL
SpO ₂	≧92%
Scr	≦1.2mg/dL
Ccr	≧45mL/min
PS	0~2

【特与量の増量基準】

無し

【特与量の減量基準】 ※アリムタ適正使用ガイド、カルボプラチン添付文書より

アリムタ:		
血液毒性	減量を考慮する値	アリムタ(mg/m ²)
好中球減少	≧Grade 4	前回用量の75%
血小板減少	≧Grade 3	前回用量の75%
	≧Grade 3かつ出血を伴う	前回用量の50%
非血液毒性		
粘膜炎を除く毒性	≧Grade3	前回用量の75%
下痢	≧Grade3	前回用量の75%
粘膜炎	≧Grade3	前回用量の50%
Ccr	45mL/min以下	中止

カルボプラチン:Grade3 又は 4 の骨髓抑制出現時、特与の延期または特与量を 80%に減量

【特に注意すべき副作用と対策】

白血球減少、好中球減少・・・症状に応じ、内服もしくは点滴静注にて抗生剤の特与、G-CSF 製剤の使用を考慮 (FN 診療ガイドライン、G-CSF 製剤使用についてのガイドラインに準じ対応)
 ヘモグロビン減少・・・症状に応じ、輸血を考慮(血液製剤の使用指針に準じ対応)
 血小板減少・・・症状に応じ、輸血を考慮(血小板輸血に関してのガイドラインに準じ対応)
 消化器障害・・・悪心嘔吐にはアプレピタントの処方追加検討。下痢には高用量ロペラミド療法検討
 間質性肺炎・・・定期的な胸部 X 線検査と必要時に胸部 CT、PaO₂ 等の検査を行い、異常時は減量休薬を検討
 末梢神経障害・・・症状に応じ、減量や休薬を検討
 腎機能障害・・・予防に努め、症状発現時は、減量や休薬を検討
 発疹・・・発現及び重症化を軽減するため、ステロイドの使用を検討する

※当院作成の【外来化学療法施行患者における緊急時対応マニュアル】を参照すること